

シカゴ稲門会の人びと

People

●今だからいえる繰り言:77年商学部ノ組のクラスメートは約60名。うち女子はわずか4名という願ってもない男女比!心うきうき、五月病とは無縁の学生生活でしたが、程なくあることに気がきます。早大男子はもてるのです!彼らは近隣女子大生との合コンに忙しく、東大に次ぐ不人気第二位の早大女子の恋愛格差は開くばかり。試練はさらに就職時にも。

当時女子の就活は自宅通勤者に限られていたため帰省しましたが、「東京帰りの娘さんはちょっと…」と永久就職でも敬遠される始末。そんな私でしたが、慶應ボーイと結ばれて、ただ今は2人でシカゴの三田会そして稲門会のイベントに参加し、少々の矍鑠?をものともせずシカゴでの新しいめぐり合いを楽しんでいます。

白井久恵(1981年商学)

●シカゴ稲門会で得るメリットは、私のような若手の方が大きいと思います。普段の仕事では、なかなか接することができない大手企業の米国法人社長の方、また地元で起業された経営者の先輩方と、初対面から親しくお付き合いできるだけではなく、ゴルフコースを回りながら、そしてプレイ後に一緒に会食を通じて、いろいろ勉強させていただく機会があります。

仕事を離れては稲門会のイベントで皆さんと肩を組み、校歌を歌いエールを切った時の爽快感は格別です。早慶戦を含む他校とのゴルフ対抗戦が数多く行われますが、青空のもとでも多く「紺碧の空」が歌えるよう、修業に励みたいと思います。 柴原友範(1997年政経・経済)

●長年、シカゴ日本語補習校高等部の教師を務めています。生徒の姿を通じて母国の教育の質や制度の変遷を眺めてきました。米国では以前、「日本の教育に学べ」という声を聞きましたが、最近はそのような声も遠くなったように感じています。

昨今の少子化で、一般的に大学の帰国子女の入学枠が広がっていると聞きます。出願要件の一つである米国統一テストのスコアが、アジア圏の生徒と比べると低いのを心配しています。日本の企業も優秀なアジアの人材を求めている状況下で、基礎学力をしっかりと身に付けた生徒を日本に送り出すことを使命と考えて、充実した授業を行うことを目指しています。

ダン奈津子(1984年教育・数学)

会員からのメッセージ

●9年前、帰国命令が出た際にシカゴに残ることを決意し、54歳で錦鯉ビジネスを起業しました。厳冬とは対照的に春から夏にかけての季節は素晴らしく、地味で質実剛健な土地柄も魅力でした。

錦鯉は日本で誕生し、英語ではKOI(CARPではなく)と表記し、品種名も「紅白」「昭和」「写り」など、すべて日本語で呼ばれます。愛好家クラブが各地にあり、年に1度の品評会を開いています。鯉のシーズンは短く、9年たった今でも経営は厳しく安定しません。しかし、錦鯉の普及は日本文化紹介の一翼を担っているとの思いで、鯉とともに日々、第二校歌・人生劇場の一人舞台を演じる心境で過ごしております。

川除新一(1971年理工・工業経営)

●極寒の冬期間はゴルフも封印です。しかし、冬が過ぎた4月から10月までのゴルフ・シーズンになると、プレイを楽しむ人びとで毎週末、コースはあふれかえります。わが稲門ゴルフ会同志も4月の練習会に始まり、同志社、慶應、東大、4大学(慶應、同志社、関学)等の対抗戦をエンジョイしています。

当地へ赴任した2007年には10人集めるのにも苦労しましたが、昨年は熱心に会員の掘り起こしを行った甲斐があって、会員登録数も26人に増えました。シーズン中は金曜日の夕方に初心者向けのレッスンをし、全員で「熱く」盛り上がっています。 蒲澤信男(1973年理工・機械工学)

●2011年7月、20年の会社人生で初めての海外赴任。しかも単身でシカゴへ着任し不安な日々を過ごしていた時に、シカゴ稲門会の存在を知り入会しました。シカゴの冬の強烈な寒さは出張時に経験していましたが、開放感あふれる夏のよさをラヴィニア・フェスティバルの夕べに参加し満喫しました。心に響くクラシックの調べと校友の繋がりを感じ、心地よい時間を過ごすことができました。

慣れない海外での会社業務や生活も、MBA取得のため猛烈に勉強に励んだ時のことを思えば何とでもなるなと感じています。今後とも校友の繋がりを大切にシカゴ・ライフをエンジョイいたします。 石古裕人(2010年ファイナンス研)



ラヴィニア・フェスティバルの夕べ



ゴルフ早慶戦

シカゴ稲門会について

About

当会は総会、新年会、忘年会そして家族で集うイベントを開催し、会員相互の交流を図るとともに、他校との交流にも力を入れています(会員のメッセージ欄をご参照下さい)。早慶ゴルフ対抗戦は1970年に第1回が開催されて以降、恒例行事となっております。

諸先輩方が築き上げてきた永い歴史を誇る当会を次世代に引き継いでゆくことは、現会員の責務であると考えております。

会長 小嶋忠賢

シカゴの魅力

Charm

を中国が注視している証左です。

シカゴ大学はノーベル賞受賞者を多く輩出しておりますが、オバマ大統領も同大学の教授を務めました。1910年、早大とシカゴ大学とのベースボール交流戦が始まり、2008年の春、72年ぶりに交流戦が再開されました。また、早稲田のスクール・カラーである臙脂はシカゴ大学のそれに由来すると聞いております。



ミシガン湖から望む湖畔沿いのグラント・パーク

全米ネットワークの放送局のキャスターは標準語といわれるシカゴ・スタイルの英語を話しています。

繁な退会・入会は避けられません。しかし、稲門出身ということで発せられる磁力が、お互いを引き付け合っています。「シカゴ在勤中は稲門会に入会し、シカゴ・ライフが楽しめた」という言葉が自然と出るような稲門会にしたいと願っております。そして当会の歴史が次世代に連綿と語り継がれていくこともまた、願いの一つです。

小嶋忠賢(1959年政経・経済)

当会は1952年、日本がまだ敗戦後の復興途上にあり、サンフランシスコ講和条約が締結された翌年に呱呱の声を上げました。2012年は記念すべき設立60周年を迎えます。明治・大正年間の卒業という校友も会員だった設立当時を振り返りますと、感慨深い思いです。

1957年には島田孝一六代総長をお迎えし、歓迎会を開催しました。1988年に竹下総理を、1999年には小淵総理をお迎えし、それぞれ盛大に歓迎会が開催されました。会員数は日系企業の中西部進出が最盛期であった1990年代には120名以上に達しました。しかし、バブル経済の崩壊、そしてリーマン・ショックの影響を免れることはできず、現在は50名あまりとなっております。

シカゴはコーンベルト(穀倉地帯)と称される中西部に位置する全米第3の大都市です。昔はアル・カポネに代表されるギャングの街・シカゴのイメージが強かったのですが、今は昔の話です。



巨大なマリリン・モンロー像(高さ8メートル)

シカゴは大阪の姉妹都市ですが、近年は製造業の集中化が進んでおり、日本の「ものづくり」哲学を共有できる質実剛健の風土があります。2011年1月、中国の胡錦濤国家主席がシカゴを訪問しましたが、これは当地区の将来の発展

会長メッセージ

ギネス・ブック早稲田版があれば、当会は最古の歴史を有する海外稲門会の一つであると誇れるかもしれませんが。記録を遡りますと、諸先輩方が当会を盛り上げるため強い熱意をもって活動してきたことが如実にわかり、敬服するばかりです。2012年は60周年記念を祝うイベント開催のほか、記念誌の発行を企画しております。

駐在員の方々は交代が避けられず、結果として頻



USA